

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和7年3月3日

No. 30



第2回なかよしリーディングバディ(低学年から高学年へ)

「リーディングバディ」とは、異学年児童がペアとなって本を読み聞かせる読書推進活動です。第1回(12月実施)の時は、高学年児童が低学年児童に読み聞かせを行いました。第2回(2月19日実施)は、そのお礼の意味も込めて、低学年児童が高学年児童に読みました。

低学年の子どもたちは、今年度のペア学年での活動をふり振り返り、「お世話になったお兄さん、お姉さんに喜んでもらって、感謝の気持ちが伝わるといいな」という気持ちで、練習も行い、当日を迎えました。最初の挨拶を終えると、緊張する中にも嬉しそうな表情も垣間見られ、文字を指でなぞりながら一生懸命読む低学年児童の姿が可愛かったです。読書の推進だけでなく、ふれ合いの楽しさや互いを思いやる気持ちを育む機会となりました。教室が優しい雰囲気で包まれ、心温まる時間でした。



◆地域づくり協議会(青少年育成部)主催 餅つき大会(2月9日)

～高学年有志ボランティア「あたごっち」の皆さん、頑張りました～

前日に積もった雪が校庭を薄っすらと覆っていましたが、日が昇ってくるにつれ、日差しも出てきました。開会式では、「あたごっち」の子どもたちからの挨拶があり、その後、中庭でお餅つきが行われました。地域の方が見守る中、小さい子どもたちも、杵を持って「ぺったんぺったん」と嬉しそうについていました。できたお餅は、地域の方が「お雑煮」にして、皆さんに振舞われました。

今の時代、杵と臼でのお餅つきは、貴重な体験です。また、それを高学年ボランティア有志「あたごっち」の子ども達を巻き込み、地域全体で行っていることは意義のあることだと思えました。地域全体で地域の子供たちを見守り育てていただいていることに、大変感謝します。



◆6年生を送る会 ～感謝の気持ちを伝えよう～（2月26日）

右記のようなプログラムで行いました。各学年ごとの出し物では、お世話になった6年生に寸劇やメッセージ合唱、ダンスなどを披露しました。どの学年も、6年生への感謝の思いがしっかり伝わる心のこもった内容でした。そして、引き継ぎ式では、「何事も勇気をもって挑戦しよう」、「仲間との友情を大切にしていこう」とメッセージと共に「挑戦」「友情」と書かれた巻物を6年生から5年生が受け取りました。来年度はこの5年生が愛宕小の伝統を受け継ぎ、リーダーとなって頑張ってくれることを期待します

最後に、6年生からお礼の気持ちをこめて、卒業式で歌う「変わらないもの」を歌いました。堂々とした歌声が体育館に響き、感動しました。

この会の実施にあたり、休み時間も使って自分たちで主体的に計画や準備をすすめたり、当日の受付、司会進行、出し物の準備・片付けをスムーズに執り行ったりした5年生。本当によく頑張りました。

また、1年間、愛宕小学校の教育活動をご支援いただいた学習支援ボランティアの方々も、感謝の気持ちをこめてご招待させていただきました。たくさんの方から、温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。

- 1 卒業生入場
- 2 はじめの言葉
プレゼント紹介
- 3 校歌
- 4 各学年の出し物

○1年生「ぼくたちのリーダー 6年生」

○2年生「2年生を思い出して」

○3年生「タイムスリップ運動会」

○4年生「音楽劇 ごんぎつね」

○5年生「あ・り・が・と・う」

- 5 引き継ぎ式

6年生から5年生へ「言葉の贈り物」

～「挑戦」と「友情」～

- 6 6年生の出し物「合唱（変わらないもの）」
- 7 終わりの言葉・全校よびかけ・くす玉割り披露
- 8 卒業生退場

